

平成 22 年 2 月 15 日

次回地震予知連絡会（5 月 21 日開催予定）における重点検討課題の検討について

地震予知連絡会

1. 次回地震予知連絡会（第 186 回：5 月 21 日開催予定）における重点検討課題
課題名：「プレート境界の固着とすべりのシミュレーション
ーモニタリングによって何が検知されると期待されるのか？」

2. 目的

太平洋プレートやフィリピン海プレートの沈み込み境界における固着とすべりに関する現状のシミュレーションの成果やその限界を理解することにより、観測モニタリングの指針を得る。

3. 検討内容

- 1) プレート境界で、どのような場合に地震が発生し、どのような場合にスローイベントとなるのかを明確にする。
- 2) アスペリティ間やアスペリティと準静的すべりの相互作用により、どのようにイベントの発生にゆらぎが生じるのかを理解する。
- 3) 数値シミュレーションの限界について留意しつつ、大地震の発生前に生起する可能性のある現象について理解を深め、地震の短期予測に有効な観測・データ解析について検討する。